

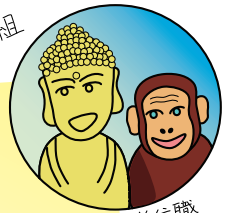


### 「新年のごあいさつ」

慈光照護のもと、門信徒のみなさまには心静かに新年を迎えられたことと思います。この冬は地球温暖化の影響か、とても暖かく、今のところ雪も積もらず、私個人は有り難い限りですが、雪が降らないと困る方々もたくさんおられます。自分さえよければいいのが私でありました。

昨年門信徒のみなさまにはたいへんお世話になりました。また、新米住職としていろいろ教えていただきました。思い出すのは、ご門徒Oさまのご法事でお齋の席に呼ばせていただいたときのこと。みなさんで食事の後に、ご親戚がお持ちになったお菓子を分けて私にもくださったのですが、私は「お菓子は間に合っていますから、私の分は結構です」と言ってしまったのです。そうしたら、奥様のお母様が「そんなこと言っちゃいけません。これはただのお菓子じゃない、お供えですから。ちゃんと持って帰ってください。」と言われました。言われてはたと気が

無量寿組



前住職に  
お孫に  
なりました



日曜が  
待ち遠しい  
坊主  
79さい



## 新しい西光寺はじめました。

【みんながって、みんないい】

今年もよろしくお祈りします。2016



住職  
54さい  
前途多難



72  
19さい  
まだまだ  
元気です。

がつきました。そうでした。仏さまへのお供えのお下がりでした。今までただのお菓子だと思っていた私は、たいへん恥ずかしかったです。また、ご門徒Iさんのご法事にお宅に伺ったときに、お仏壇の点燭（蠟燭に火をつけること）・供香をいつものくせで私がいよいよとしたら、お母様が「ちよつと待つてください、これは家長の勤めですから息子にやらせてください。」と言われました。

### 「ラオスに行つてきます」

おっしゃるとおりでした。普段の月参りではついつい自分で点けてしまいますが、よかれと思つてしたことが、大切な伝統を受け継がれていかなないようにしてしまつていのが、実は僧侶の側にも責任があるということを教えられました。南無阿弥陀仏をいただく念仏者は、『いくつになつても育ち盛り』と聞かされております。私もこの歳になつても、門信徒のみなさまからお育てをいただいております。本当に有り難いことだと思つています。

みなさまにはたいへん申し訳ないことですが、私が京都でお世話になつた布教使の福岡義朝先生（これまでも何度も紙面に登場しています）からぜひひとと3回お電話があり、今月18日から23日まで、ラオスとカンボジアに仏跡参拝の旅にでかけることになりました。期間中の月参りは越前市の徳泉寺の若さん（藤下晃厳さん）が寺に泊まり込んでしてくださいることになりました。もし時間の変更等ありましたら、寺にお電話ください（092-1368）。住職の携帯にかけると、通話料が高額になる可能性があります。夜間でしたらメールは受けとれると思います。言い訳がましいですが、お寺のお金はこれまでの旅でも使っておりません。お寺からの給料や（いまやお寺も給与制です）勤務時代の

貯金で行ってまいります。

なお、福岡義朝先生は、今月九日から十六日まで、本願寺でお勤まりになる御正忌報恩講で特別講演をなさいます。日時は13日（水）の11時10分からです。この機会に本願寺にお参りいたしましょう。

### 「御正忌が厳修されました」

先月十八日に当院の御正忌法要をお勤めさせて頂きました。また写真を撮るのを忘れてしまいました。お昼には大島暁子様、大嶋郁子様、加藤悦子様、木原節子様、佐々木あい子様、田中和子様、玉谷二重様、新田様、藤田幸子様、柚木ことみ様、米田幸子様、夜には桜井照視様、柚木ことみ様、（五十音順）にお参りいただき、誠に有り難うございました。今年の善哉は小豆が固くて反省しています。来年は小豆がちゃんと軟らかくなつてから砂糖を入れたいと思います。

### 「久しぶりのQ&Aコーナー」

先日あるご門徒さんからメールで質問をいただきました。たいへん興味深い内容だったので、私の回答とともに紙面で紹介させていただきます。

Q 来年本厄なのですが、西光寺では厄払いをしてもらえますか？

A 浄土真宗は、厄払いなどはいたしません。やれば収入になるのですが、私たち

の宗門では、『あてにならないものはたよりにしない』のです。阿弥陀仏の真実のみおしえをいただくばかりです。なので、大安、仏滅、友引……などの六曜も気にしませんし、七五三などもしません。お守りなどの類いやおみくじなども一切販売しておりません。ありのままに、ご縁をいただくままに、思い通りにならない人生を思い通りにならないままに生きさせていただくのです。私たちが仏さまに手を合わせるの、なにかをお願いするのではなく、私たちが撰取して捨てることとがないと誓われた阿弥陀仏に、おかげさまと手を合わせ、念仏申す身とならせていただいたことを喜ばせていただきます。

### 「提灯をご寄付いただきました」

このたび、お寺の法要などにお手伝いくださったついでに法務員の徳丸昭典様が、「前住職にはたいへんお世話になったので、ぜひ寄付させてほしい」と

提灯を一對ご寄付くださいました。

本当に有り難うございます。大切に使用させていただきます



ます。紋は本願寺派の下がり藤にさせていただきますました。また、この機会に提灯の中の照明も、蝋燭のように瞬くLEDにさせていただきますました。これからの法要の夜のお座でぜひその輝きをお確かめください。また、たくさんの門信徒のみなさまより、お米やお野菜、果物その他書ききれないほどの品物を頂戴しました。仏さまにお供えしてから美味しくいただきました。便利に使わせていただいたりしております。みなさまのおかげで私たち寺族の体ができていると言っても過言ではありません。本当に有り難うございました。

### 「年賀状について」

今年も門信徒のみなさまから年賀状をいただきました。たいへん有り難うございます。ただ、年始の寺報もお配りしておりますので、今後は寺からの年賀状はご遠慮させていただきます。どうかと思っております。みなさまも寺への年賀状は今後は結構かと存じます。身勝手なお願いですが、どうかご理解いただければ幸いです。ご意見がありましたらお知らせください。では、3月に彼岸会を予定しております。ぜひお参りください。詳細は次号で。

住職携帯 090-8697-7602

メール soichiro4989@gmail.com